

高信頼性ICタグ

遠隔のIDを信頼性よく

多数の似て非なるものをすばやく間違いなく同定することは人間にとって最も苦手なことの一つです。たとえ画像技術を駆使しても不可能なことです。ものの名前ともいべきID番号を付して効率的に読み取り、ネットで検索することにより、すばやく間違いなく同定し照合し記録することは大変重要なことです。

近場のもののID番号はICタグやバーコードでよいのですが、遠隔というとなると長距離のパッシブなICタグや電池付き無線技術によるアクティブICタグとなります。

電池付きのアクティブICタグは大変応用範囲が広いのですが、電池寿命という大きな問題があります。

ID番号は知りたい時にタイムリーに読めれば十分その機能をはたしますので、普段は電池の消費がないシステムにする必要があります。普段は全く動作していませんが、必要なときに目がさめて動作する動作オンデマンドのようなからくりで電池の長寿命化を図る必要があると思っています。